



Chocho

長崎大学広報誌「チョー・ホー」 Vol.52 2015年7月1日発行 長崎大学ホームページ <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

学びの  
森の風景

Scene 14



文教キャンパスの東門そばにある薬用植物園では、薬学部の3年生が薬用植物のスケッチを行い、分類の実技を学びます。ここには457種の植物が栽培されており、なかでも初夏の風物詩のような存在が、このプラシノキ。オーストラリアが原産で、少なくとも樹齢12年以上。見上げるほど大きく、ブラシ状の真っ赤な花が咲くと、木全体が燃えるような赤に染まります。このブラシの先の部分が成長すると新たな枝になり、その先に翌年また新たな花が咲くそうです。これから夏にかけては、ほかにノウゼンカズラ、モミジアオイ、ムクゲ、イセハナビなど、色も形も異なる花が次々に咲き始めるとか。楽しみですね。平日は公開しており、一般の方も訪れるることができます。撮影／沖田夏樹（経済学部 職員）